

問 1. 60歳の男性。バスに乗っていて急ブレーキの際に吊り革を握っていた肩に激痛を感じた。以後運動痛とともに夜間痛があり、肩関節の運動制限が生じた。肩関節部に腫脹、変形はない。屈曲90度可能であるが外転は全く不能である。ヤーガソンテストは陰性である。

最も考えられる外傷はどれか。

1. 肩鎖関節脱臼
2. 腱板断裂
3. 肩関節脱臼
4. 上腕二頭筋長頭腱断裂

問 2. 25歳の男性。アーム・レスリング大会に出場して、競技中に上腕骨骨幹部中下1/3境界部に螺旋状骨折を生じた。受傷直後から母指・示指・中指の背側に知覚障害が出現し、前腕の回外運動および母指の外転運動が不能であった。 整復の後に外転副子を用いて固定する際の手関節の肢位はどれか。

1. 屈曲位
2. 伸展位
3. 橈屈位
4. 尺屈位

問 3. 61歳の男性。パイプタバコを一時も離さない程のヘビースモーカー。高血圧、糖尿病および軽度の脳血栓症の既往がある。10年来、月一回のペースでゴルフ場に出掛けるが、数年前より左小指の運動が制限されて日常生活動作に支障が出現した。手掌部掌尺側に索状の硬結を触れ、小指の完全伸展が不能である。自発痛、運動痛は全くなく、炎症所見もない。

最も考えられるのはどれか。

1. ばね指
2. ヘバーデン結節
3. マレット・フィンガー
4. デュピュイトレン拘縮

問 4. 18歳の男子。サッカーの試合中に受傷し直ちに来院した。跛行が著明で、膝関節を伸展位に保持している。膝関節の腫脹が著しく、膝蓋跳動を認める。側方動揺性はないが、ラックマンテスト陽性、アプレーテスト陰性である。

最も考えられる外傷はどれか。

1. 前十字靭帯損傷
2. 内側側副靭帯損傷
3. 膝蓋腱断裂
4. 外側半月損傷

問 5. 20歳の男性。ラグビーの試合中に下腿を強打した。腓腹筋挫傷として冷湿布、包帯が施行された。その日の夜間に疼痛が増強し、足指の知覚鈍麻が出現した。下腿部は著明な腫脹と疼痛とを呈し、足背動脈の拍動は触知できない。熱感、発赤はほとんどなく、足指の伸展は制限されている。

最も考えられるのはどれか。

1. 骨折
2. 細菌感染
3. 区画内圧の上昇
4. 挫滅症候群